

経営比較分析表（令和5年度決算）

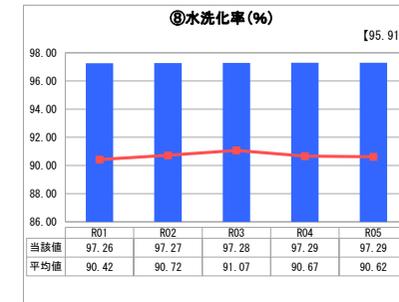
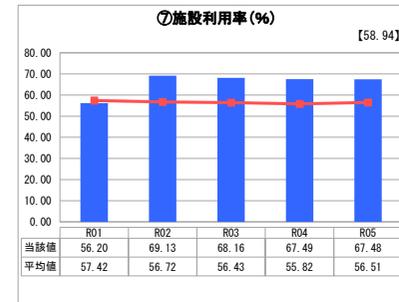
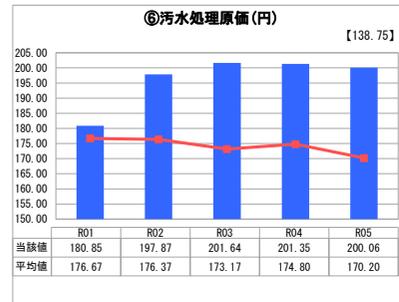
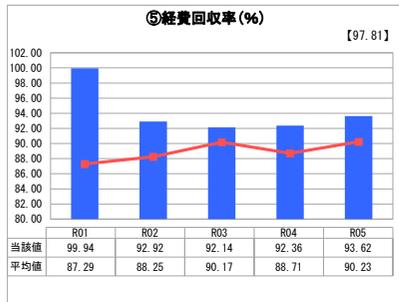
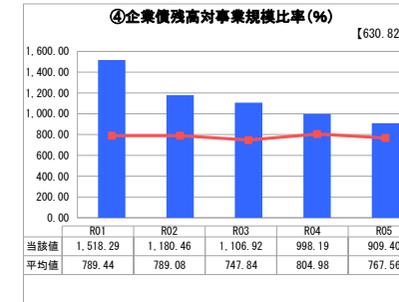
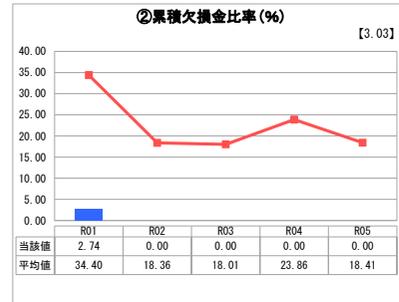
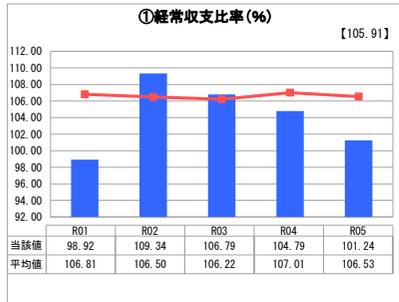
佐賀県 伊万里市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	63.45	56.91	81.11	3,480

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
52,279	255.26	204.81
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
29,560	10.72	2,757.46

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

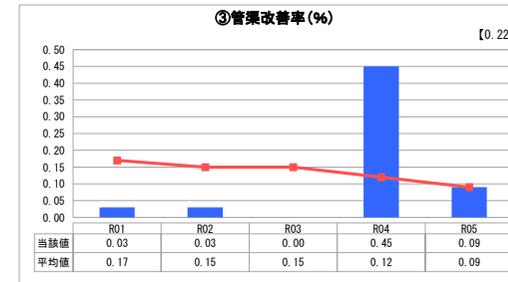
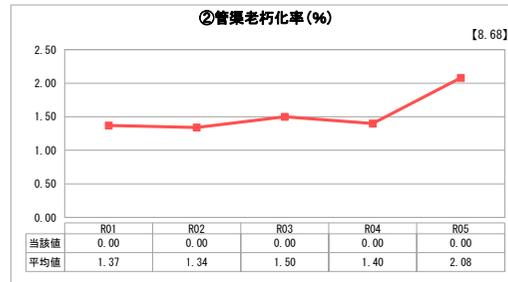
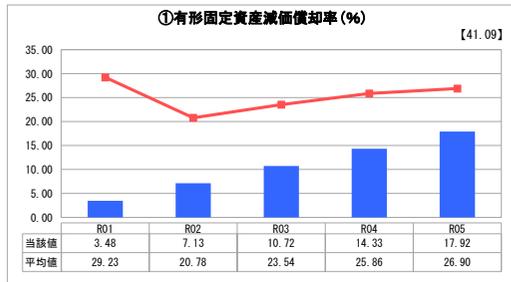
1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は令和2年度以降は100%を上回っており、黒字を維持できている。
- ② 累積欠損金比率は、令和2年度以降ゼロとなっている。
- ③ 流動比率は、令和3年度以降増加傾向にあるが、一貫して平均値を下回っている。
- ④ 企業債残高対事業規模比率は、年々減少しているが、一貫して平均値を上回っている。
- ⑤ 経費回収率は、一貫して平均値を上回っているが100%を下回っているため、更なる経営の効率化が必要である。
- ⑥ 汚水処理原価は、一貫して平均値を上回っており、令和3年度以降は200円台を推移している。
- ⑦ 施設利用率は、令和2年度以降60%台を推移しており、平均値を上回っている。
- ⑧ 水洗化率は、一貫して平均値を上回っており、令和元年度以降は97%台となっている。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率は、老朽化の進行により年々増加しているが、一貫して平均値を下回っている。
- ② 管渠老朽化率は、法定耐用年数(50年)を経過している管渠はない。
- ③ 管渠改善率は、令和5年度は平均値と同じ値となっている。改善が必要な箇所について随時取り組んでいる。

2. 老朽化の状況



全体総括

現状では、経営の効率性が保たれているものの、使用料収入に対し、地方債償還金が大幅に上回るなど経営経費の削減だけでは改善できない状況となっている。
さらに、人口減少に伴い使用料の大幅な増加が見込まれるため、今後は、ストックマネジメント計画による長寿命化を視野に入れた施設の更新を行いつつ、経営改善のために使用料の改定時期を検討する必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。